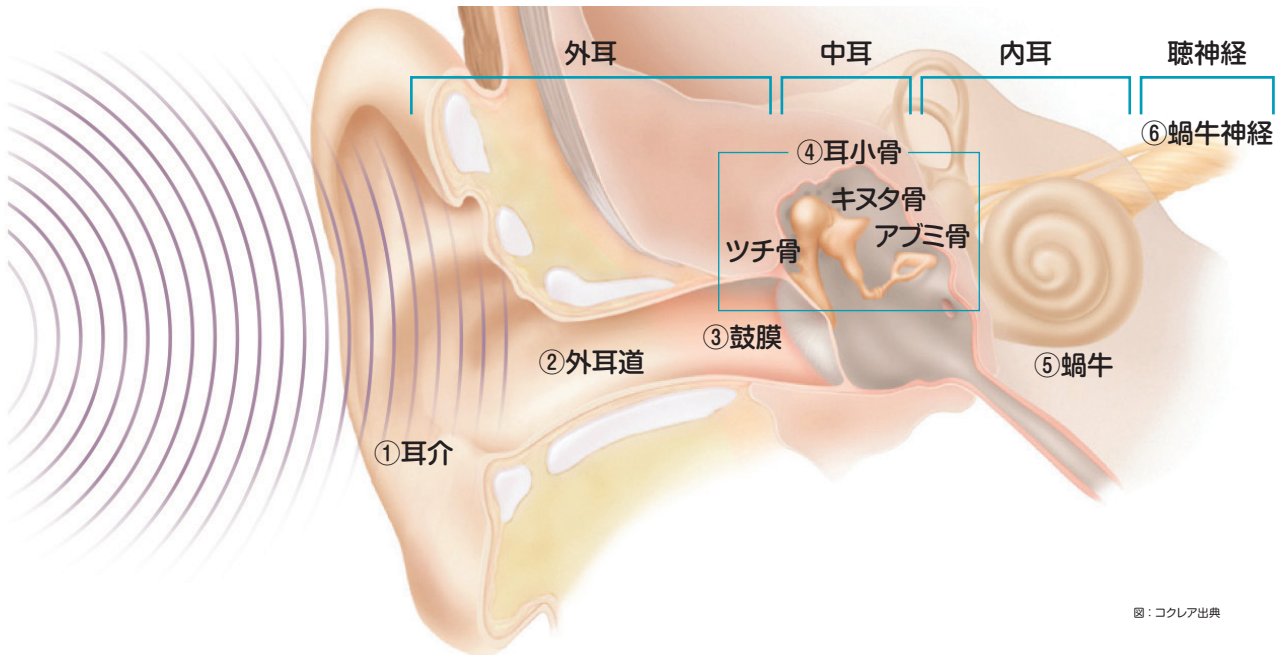


聴こえのしくみ

耳から入力された音は、音情報の伝わるルート（聴覚伝導路）を經由して大脳に到達します。脳では音情報を分析してその音の意味を認知、理解します。



図：コクレア出典

▶ 音の振動を電気信号に変換

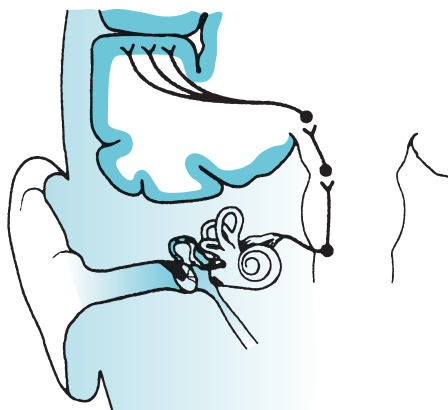
- ① 耳介が音を集める
- ② 外耳道で周波数の強弱がつく
- ③ 鼓膜が振動する
- ④ 耳小骨が内耳の液を振動させる
- ⑤ 蝸牛で振動（音）を電気信号に変換
- ⑥ 電気信号が蝸牛神経を通して脳へ行く

メモ

『気導』音の振動が外耳道、鼓膜、耳小骨を經由して内耳に伝わるルート

『骨導』蝸牛を覆う骨（側頭骨）の振動が、直接蝸牛を刺激するルート（例...骨伝導イヤホン）

▶ 言葉は脳できいている



耳で集めた音の情報が脳に伝わってはじめて、「きこえる」という事になるのです。

耳の働き

音情報を電気信号に変えて脳に伝える

大脳の働き

耳から入力された音情報を処理し認知、理解する
*音を聞く経験によって発達する